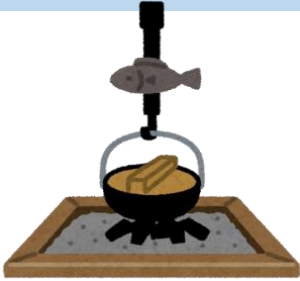


三原市久井歴史民俗資料館 vol.43

モーモー通信



昔話にでてくる道具 ①

みな 皆さんは、たくさんの 昔話 を読んだこと
があると思います。そこに登場する道具には、
話の鍵をにぎる大切な役割があったり、その
時代の生活の様子が映し出されたりすること
があります。

久井に古くから伝わる昔話「中野の出雲
石」をご存じでしょうか。昔、縁結びの出雲
大社にお参りした親子がいました。息子が帰
り道、歩けなくなった母をてんびん棒の苗か
ごにのせ、もう片方には石をのせ歩いて帰り
ました。途中で母も元気になり、石を道ばた
に置いて帰路につくと、その後孝行息子には、
よいお嫁さんが来たというお話です。



出典：西原久登著「ふるさと久井昔話」昭和 53 年発行

てんびん棒と苗かご

てんびん棒とは、ものをつるして運ぶための木
の棒です。棒の真ん中を肩にあてて、前後に苗か
ごやおけをつり下げて運びます。かごの中には、
運びたいものをなるべく同じ重さになるように
入れます。遊具のシーソーのようなイメージで
す。「えっさ、ほいさ」と声をだしてバランスをと
り、体を揺らしながら運ぶことも。



経験とコツが必要かモー

約 60 年前に三原で撮影→



えっさ、ほいさ

出雲岩

なかの いすもいし

「中野の出雲石」のお話にはつづきがあります。道ばたに置いた石は、その後だんだん大きくなっていったのです！その石は伝説の「出雲岩」として、中野地区の田の中にたたずんでいます。

大きくて、びっくり！



久井の岩石を自慢したい！



ぬいえをしよう！

資料館では、ぬいえコーナーがあり楽しんでいただけます！完成したぬいえを受付にもってきてくれたら、資料館特製グッズをプレゼント。（数には限りがございます。）

おうちでぬって持ってきていただいてモー↓



ぬいえダウンロード先

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/kyouiku/120105.html>



つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

